

補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準の一部を改正する件について

○厚生労働省告示第四百四十号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第二百二十三号）第五条第二十五項及び第七十六条第二項の規定に基づき、補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準（平成十八年厚生労働省告示第五百二十八号）の一部を次の表のように改正し、令和五年四月一日から適用する。

令和五年三月三十一日

厚生労働大臣 加藤 勝信

改正後	改正前																				
<p>1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五条第二十五項に規定する主務大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、座位保持装置、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、人工内耳（人工内耳用音声信号処理装置の修理に限る。）、車椅子、電動車椅子、座位保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意思伝達装置とし、次項から第五項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとする。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具については、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他主務省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 法第七十六条第二項の規定に基づき主務大臣が定める補装具の購入等に係る費用の額の基準は、別表の規定による価格の百分の百六に相当する額とする。ただし、第一項ただし書の補装具については、市町村が定める額とする。</p> <p>4・5 (略)</p> <p>別表</p> <p>1 購入基準</p> <p>(1) (略)</p> <p>ア・イ (略)</p> <p>ウ 基本価格</p> <table border="1" data-bbox="288 1337 1081 1425"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>採型区分</th> <th>型式</th> <th>価格円</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	採型区分	型式	価格円	備考						<p>1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五条第二十五項に規定する厚生労働大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、座位保持装置、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、人工内耳（人工内耳用音声信号処理装置の修理に限る。）、車椅子、電動車椅子、座位保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意思伝達装置とし、次項から第五項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとする。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具については、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他厚生労働省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 法第七十六条第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める補装具の購入等に係る費用の額の基準は、別表の規定による価格の百分の百六に相当する額とする。ただし、第一項ただし書の補装具については、市町村が定める額とする。</p> <p>4・5 (略)</p> <p>別表</p> <p>1 購入基準</p> <p>(1) (略)</p> <p>ア・イ (略)</p> <p>ウ 基本価格</p> <table border="1" data-bbox="1155 1337 1948 1425"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>採型区分</th> <th>型式</th> <th>価格円</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	採型区分	型式	価格円	備考					
名称	採型区分	型式	価格円	備考																	
名称	採型区分	型式	価格円	備考																	

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
-----	-----	-----	-----	-----

(注)

1～3 (略)

4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また、ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

エ～キ (略)

備考 (略)

(2) (略)

ア・イ (略)

ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	型 式	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また、ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

エ～キ (略)

備考 (略)

(3)・(4) (略)

(5) その他

種 目	名 称	基本構造	付属品	価 格 円	耐用 年数	備 考
((略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
-----	-----	-----	-----	-----

(注)

1～3 (略)

(新設)

エ～キ (略)

備考 (略)

(2) (略)

ア・イ (略)

ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	型 式	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

(新設)

エ～キ (略)

備考 (略)

(3)・(4) (略)

(5) その他

種 目	名 称	基本構造	付属品	価 格 円	耐用 年数	備 考
((略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

略))	文字等走査入力方式	(略)	プリンタ (必要に応じて) (略)	(略)	(略)	プリンタを必要としない場合は、 <u>15,000円減じた価格</u> とすること。 ひらがな等の文字綴り選択による文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタ <u>(必要に応じて)</u> に
	(略)	(略)	(略)	(略)		

略))	文字等走査入力方式	(略)	プリンタ (略)	(略)	(略)	(新設)
	(略)	(略)	(略)	(略)		ひらがな等の文字綴り選択による文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタとして構成されたも

					より構成されたものであること。その他、障害に応じた付属品を修理基準の中から加えて加算することができること。 (略)
--	--	--	--	--	--

備考 (略)

2 借受け基準

(1) (略)

(2) その他

種目	名称	基本構造	付属品	価格円	備考
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)
重度障害者用	文字等走査入力方式	(略)	プリンタ <u>(必要に応じて)</u> (略)	(略)	<u>プリンタを必要としない場合は、370円減じた価格とすること。</u> ひらがな等の文字綴り選択によ
	(略)	(略)	(略)	(略)	

					の。その他、障害に応じた付属品を修理基準の中から加えて加算することができること。 (略)
--	--	--	--	--	---

備考 (略)

2 借受け基準

(1) (略)

(2) その他

種目	名称	基本構造	付属品	価格円	備考
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)
重度障害者用	文字等走査入力方式	(略)	プリンタ (略)	(略)	(新設) ひらがな等の文字綴り選択によ
	(略)	(略)	(略)	(略)	

意思伝達装置)				る文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタ(必要に応じて)により構成されたものであること。 (略)
--------	---	--	--	--	--

備考 (略)

3 修理基準

(1) (略)

ア ソケットの交換

(ア) 基本価格及び複製価格

名称	採型区分	型式	価格円		備考
			基本価格	複製価格	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また

意思伝達装置)				る文章の表示や発声、要求項目やシンボル等の選択による伝言の表示や発声等を行うソフトウェアが組み込まれた専用機器及びプリンタが、 <u>一体的なシステムとして構成されたものであること。</u> (略)
--------	---	--	--	--	--

備考 (略)

3 修理基準

(1) (略)

ア ソケットの交換

(ア) 基本価格及び複製価格

名称	採型区分	型式	価格円		備考
			基本価格	複製価格	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

(新設)

ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

(イ) (略)

イ～カ (略)

(2) (略)

ア ソケットの交換

(ア) 基本価格及び複製価格

名称	採型区分	型式	価格円		備考
			基本価格	複製価格	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

4 陽性モデルの製作を必要としないダイレクトソケットシステムについては、基本価格に40%を乗じた価格を上限額とし、チェックソケットは使用できないこと。また、ソケットの製作要素価格においては、いかなる加算もできないこと。

(イ) (略)

イ～オ (略)

(3) 装具

修理項目	価格円	備考
(略)	(略)	
オ その他の交換・修理		
ア (下肢装具)	(略)	単なる剥離に対する再接着

(イ) (略)

イ～カ (略)

(2) (略)

ア ソケットの交換

(ア) 基本価格及び複製価格

名称	採型区分	型式	価格円		備考
			基本価格	複製価格	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(注)

1～3 (略)

(新設)

(イ) (略)

イ～オ (略)

(3) 装具

修理項目	価格円	備考
(略)	(略)	
オ その他の交換・修理		
ア (下肢装具)	(略)	(新設)

) 修理部位				<u>修理は、交換とは認められない。(注) 4)</u>
	(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	
(注) 1～3 (略) <u>4 裏革に劣化等のない、単なる剥離に対する再接着修理は、1の(3)のエに掲げる価格を修理価格とすること。なお、剥離については、新規製作及び修理から9月以内は接着不良としての修理を認めないこと。</u>				

(4)・(5) (略)

) 修理部位				
	(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	
(注) 1～3 (略) (新設)				

(4)・(5) (略)